

第6次直方市総合計画策定に向けた高校生アンケート結果

I. 実施概要

対 象	直轄地区の高校（5校）に通学する高校生
実施時期	令和2年6月～7月
配布方法	直方市から各高校に依頼
対象者数	1,124人
回収数	1,097部
回収率	97.6%
聴取項目	全14問

- ①回答者の属性（性別、住所、学校名等）（3問）
- ②まちに対する考え方（2問）
 - ・住みたいと思うまちを考える際の重要度（1問：15項目）
 - ・直方市に対するイメージ（1問：15項目）
- ③10年後の直方市にどのようなまちになってほしいか（1問）
- ④現時点で考える将来の進路等（8問）
- ⑤若者が直方市に住みたいと思うために必要と思う環境や条件・取組（1問）

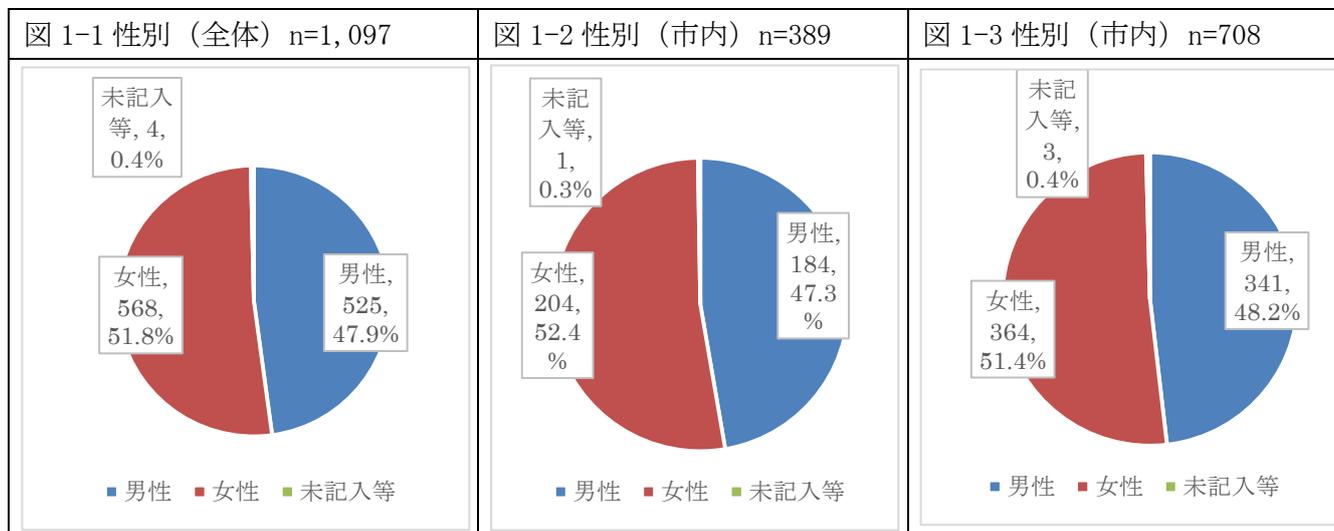
回答方法	番号選択及び自由記述による回答（上記①～⑤：番号選択、上記⑥：自由記述）
------	--------------------------------------

- | | |
|------|---|
| 留意事項 | <ol style="list-style-type: none">①図表のnは回答者の総数、%は全体に占める割合を示す。②各設問の回答結果は、不明を含む調査数（回答総数）を基数としている。③対象者を特定した設問の回答結果は、非該当を除く調査数を基数としている。④小数点付データについては、小数点第2位を四捨五入で表記している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。⑤2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、損壊等比率の合計は100%を超える場合がある。⑥図表中、回答割合が少ない数値は、見やすさを考慮して省略している場合がある。⑦自由記述については、良く見られたキーワードを抽出し、そのキーワードの出現回数をカウントしている。 |
|------|---|

II. 基本属性

Q 1. あなたの性別をお選びください。(回答は1つだけ)

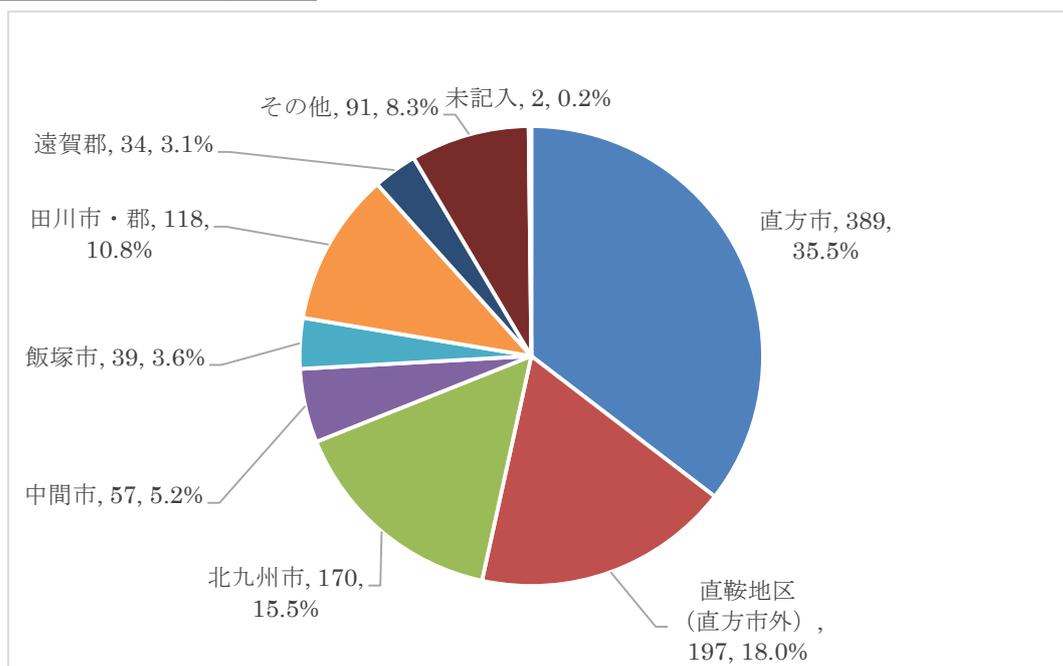
回答者の性別は、全体、市内、市外いずれも「女性」や5割強、「男性」が5割弱だった。



Q 2. あなたの現在のお住まいを教えてください。(回答は1つだけ)

現在の住まいは、「市外」が 64.4%を占め、「直方市内」は 35.5%だった。また、「市外」回答者の内訳としては、「直轄地区 (直方市外)」が 18.0%と最も高く、次いで「北九州市」が 15.5%だった。近隣自治体以外を想定した「その他」が 8.3%と中間市、飯塚市、遠賀郡などより高く、遠方からの通学者が一定数いることが判明した。

図 2 現在の住まい (n=1,097)



Q3. 学校名、コース・科・系列名、学年を教えてください。

回答者の属性は下記のとおり。本アンケートでは2年生を中心（81.6%）とした調査となっている。また、学科等の内訳は、普通科等（38.4%）、普通科等以外の専門学科（61.6%）となっている。なお、普通科等には、普通科に準ずる学科等を含んでいる。

図3. 調査対象学年 (n=1,097)

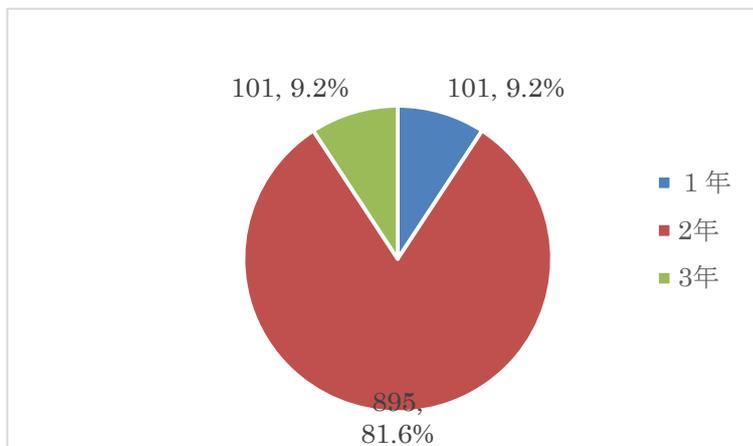


表1. 対象学校名、学年、回収数等 (n=1,097)

学校名	学年	回収数
鞍手高校	2	233
直方高校	2	172
筑豊高校	1	101
	2	133
鞍手竜徳高校	2	95
	3	101
大和青藍高校	2	262
計		1,097
対象生徒総数		1,124
回収率		97.6%

表2. 学科等 (n=1,097)

学科等分野	回答数	該当学科等
普通科等	421	普通科、理数科、文理等
商業・ビジネス	174	商業、ビジネス、情報等
介護・福祉	33	福祉、介護福祉等
看護	48	看護
調理	135	調理
生活デザイン	71	生活デザイン
工業	24	工業等
農業	4	農業
総合	148	総合学科
スポーツ	39	スポーツ科学コース
計	1,097	

Ⅲ. まちに対する考え方

Q 4. あなたが住みたいと思う「まち」を考える際の重要度と、あなたの直方市に対するイメージについて、1～5のうち該当する数字を1つだけ、それぞれの項目に記入してください。

・あなたが住みたいと思うまちを考える際の重要度

1：とても重視する 2：やや重視する 3：どちらでもない 4：あまり重視しない
5：全く重視しない

・あなたの直方市に対するイメージ

1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：どちらでもない 4：あまり当てはまらない
5：全く当てはまらない

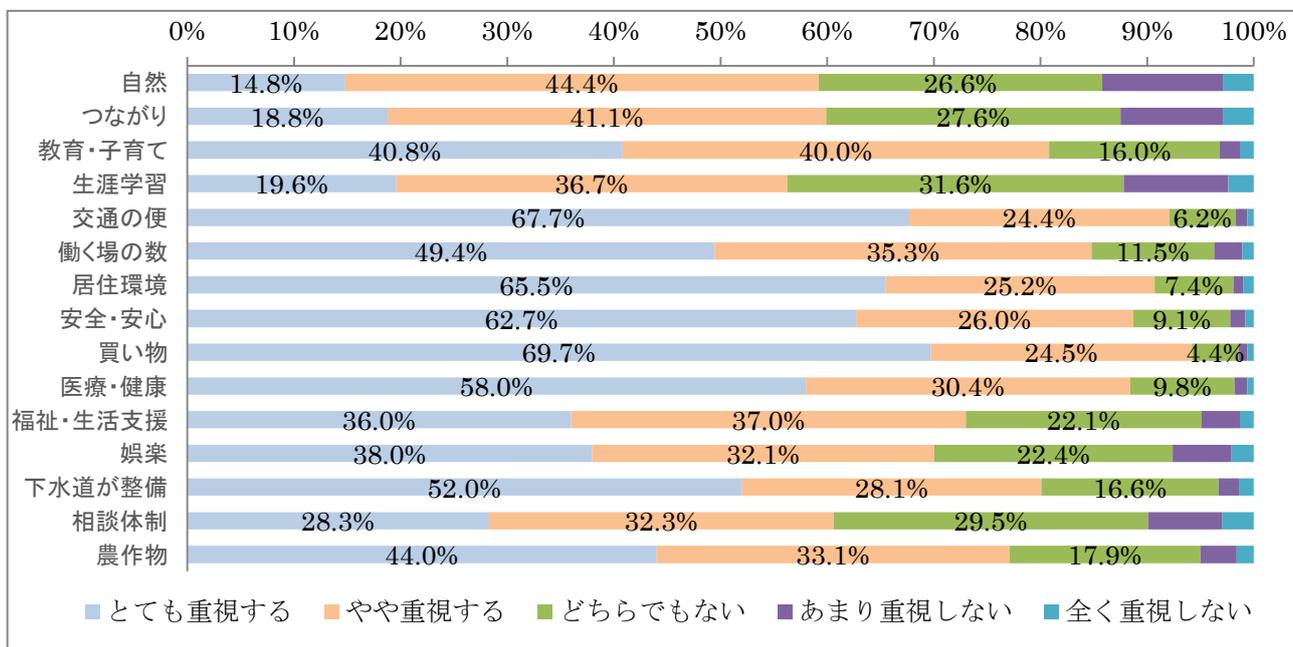
質問項目	略称
自然が豊か	自然
人と人のつながりが強い	つながり
教育・子育て環境が充実	教育・子育て
生涯学習が盛ん	生涯学習
交通の便が良い	交通の便
働く場が多い	働く場
居住環境が良い	居住環境
防災・防犯・交通安全が充実	防災・防犯・交通安全
買い物がしやすく便利	買い物
医療・健康づくりが充実	医療・健康づくり
福祉・生活支援が充実	福祉・生活支援
娯楽・レジャー・イベントが充実	娯楽
下水道が整備	下水道
困った時に相談できる仕組みがある	相談
農作物が豊か・美味しい	農作物

(1) 住みたいと思う「まち」を考える際に重視する点

住みたいと思う「まち」を考える際に重視する点として、15項目について重要度を尋ねたところ、8項目において、「とても重視する」、「やや重視する」を合わせた割合が80%を上回った。

特に、「買い物がしやすく便利(94.2%)」、「交通の便が良い(92.1%)」、「居住環境が良い(90.7%)」の3項目は、90%を上回っており、生活利便性を特に重視する傾向がみられた。

図4. 住みたいと思うまちを考える際の重要度 (全体)

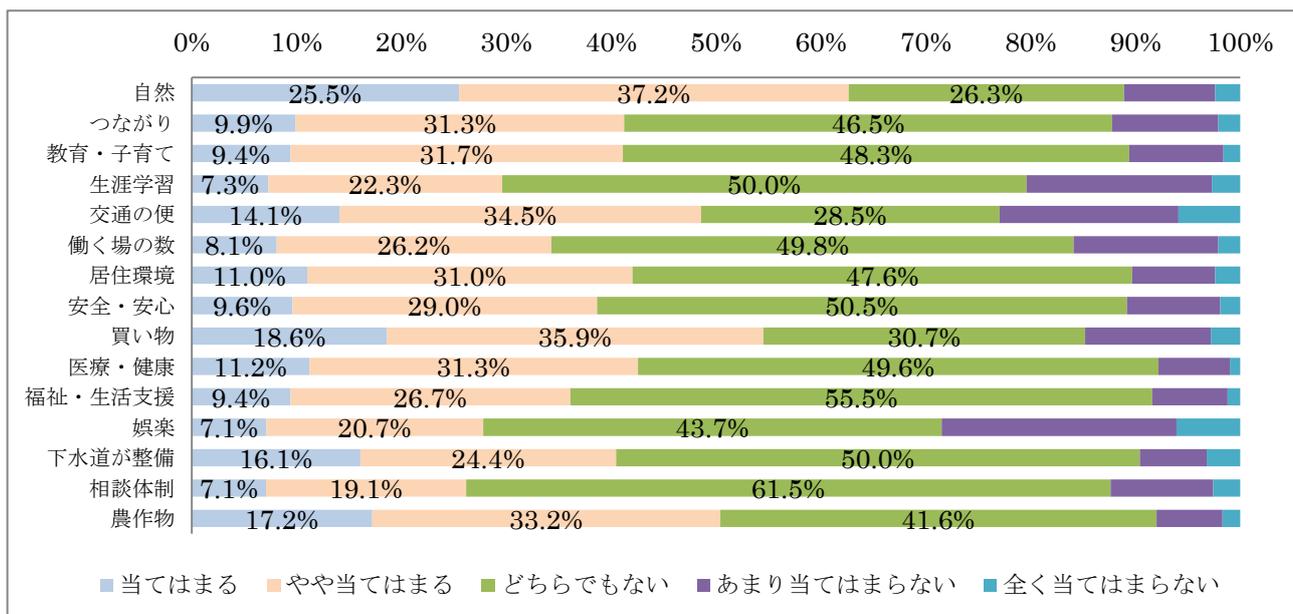


(2) 直方市に対する対するイメージ

直方市に対するイメージとして、上記(1)と同様、15項目について重要度を尋ねたところ、「とても重視する」、「やや重視する」を合わせた割合が50%を上回った項目は、3項目にとどまった。

上位3項目は、「自然が豊か(62.7%)」、「買い物がしやすく便利(54.5%)」、「農作物が豊か・美味しい(50.4%)」となった。

図5. 直方市に対するイメージ (全体)



(3) 住みたいまちの重要度と直方市のイメージとの比較

上記(1)、(2)を比較すると、「自然が豊か」のみ、「直方市のイメージ」が「住みたいまちを考える際の重要度」を上回っているが、そのほかの項目は大きく下回っていた。

図6-1. 住みたいまちの重要度と直方市に対するイメージの比較 (全体)

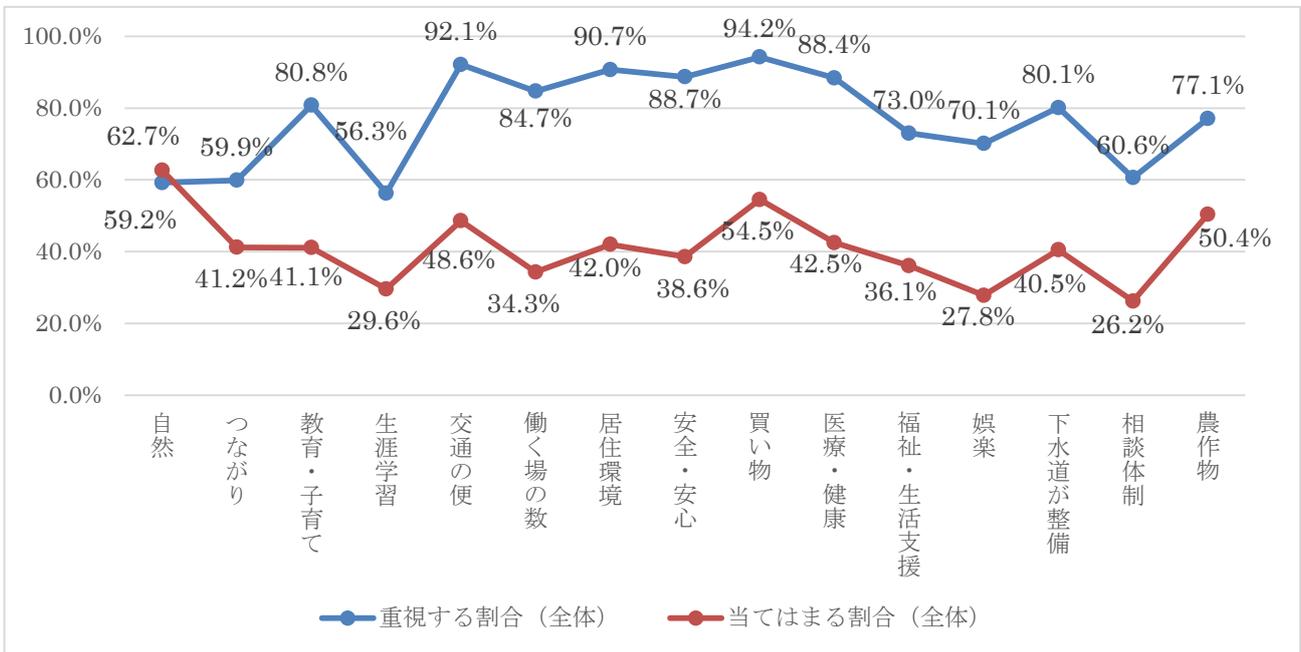
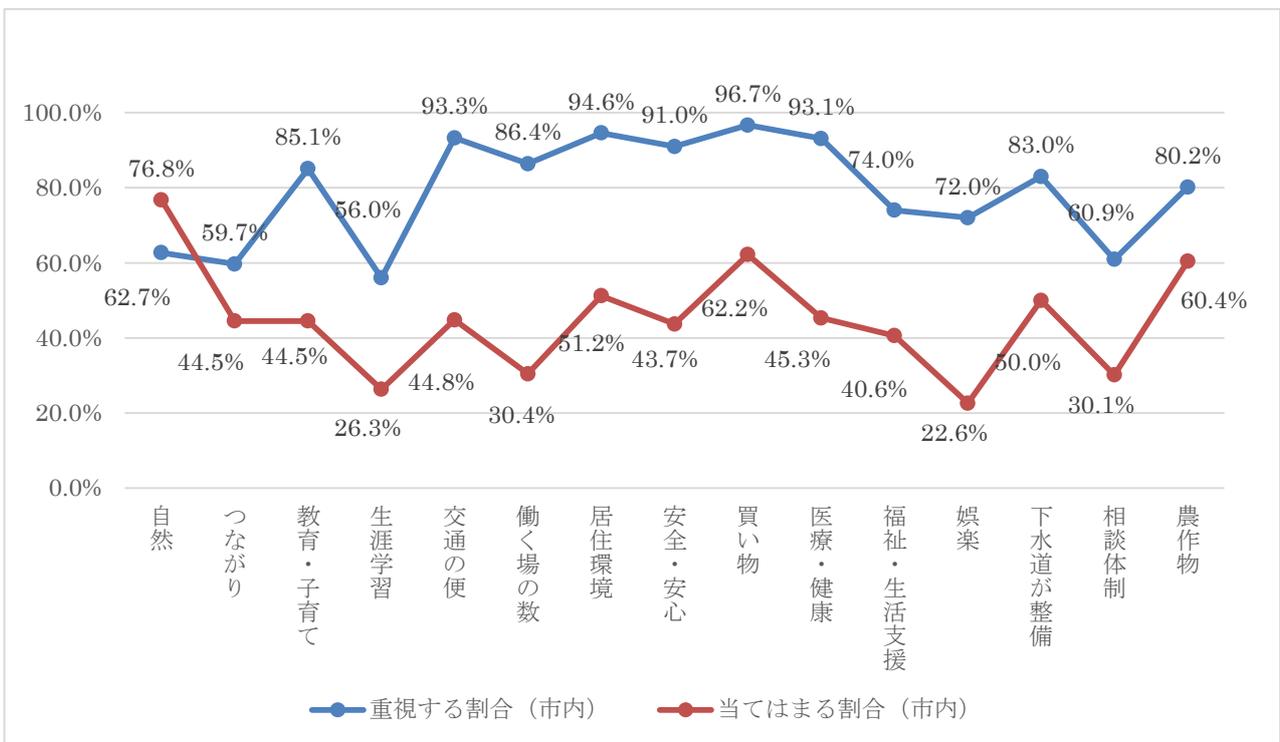


図6-1. 住みたいまちの重要度と直方市に対するイメージの比較 (市内在住者)

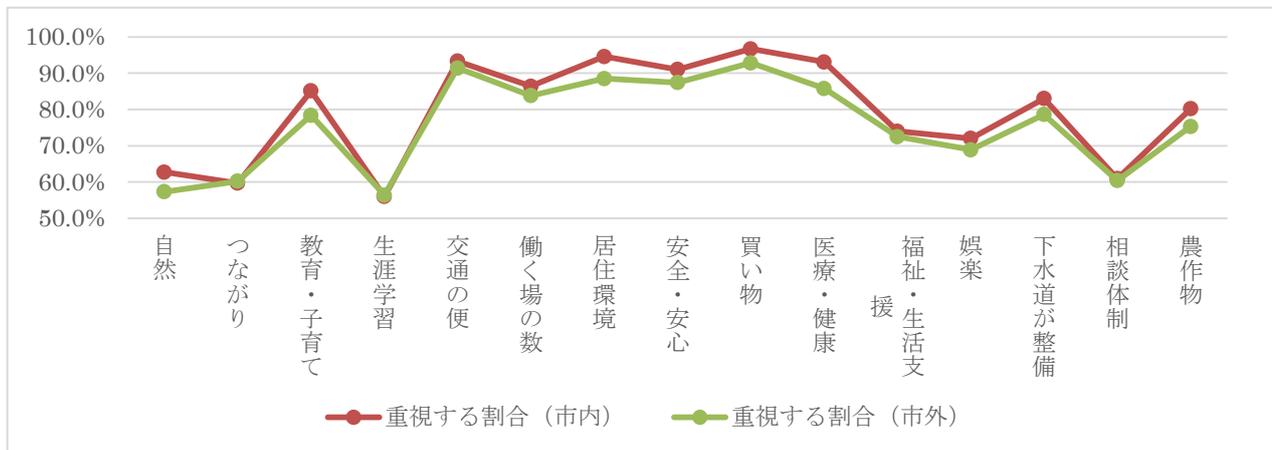


(4) 「住みたいまちを考える際の重要度」に関する市民、市外居住者の比較

「住みたいまちを考える際の重要度」について、市民と市外居住者の回答を比較すると、下図のとおり概ね同様の傾向を示している。

「とても重視する」、「やや重視する」を合算した割合が、市民、市外居住者共に 90%を超える項目は「交通の便が良い（市民 93.3%、市外 91.4%）」、「買い物がしやすく便利（市民 96.7%）、（市外 92.8%）」の 2 項目となった。

図7. 「住みたいまちを考える際の重要度」に関する市民、市外居住者の比較



(5) 「直方市に対するイメージ」に関する市民、市外居住者の比較

「直方市に対するイメージ」について、市民と市外居住者の回答を比較すると、増減傾向は概ね同一だったが、「当てはまる」、「やや当てはまる」に該当すると回答した割合については、複数の項目で 10%以上の差がついた。

市民が、市外居住者より当てはまると回答した項目のうち、「自然が豊か」、「居住環境が良い」、「買い物がしやすく便利」、「下水道が整備」、「農作物が豊か・美味しい」の 5 項目は、直方市に当てはまると回答した割合が、市外住民と比較して市民が 10%以上高かった。

一方、「生涯学習が盛ん」、「交通の便が良い」、「働く場が多い」、「娯楽・レジャー・イベントが充実」の 4 項目は、直方市に当てはまるとした回答が、市民の方が市外住民より低かった。

図8. 「直方市に対するイメージ」に関する市民、市外居住者の比較



Q5 10年後の直方市にどのようなまちになってほしいか

第6次直方市総合計画の最終年度である10年後、直方市にどのようなまちになってほしいかについて、下表の項目から最大2項目まで選ぶ選択式にて質問した。

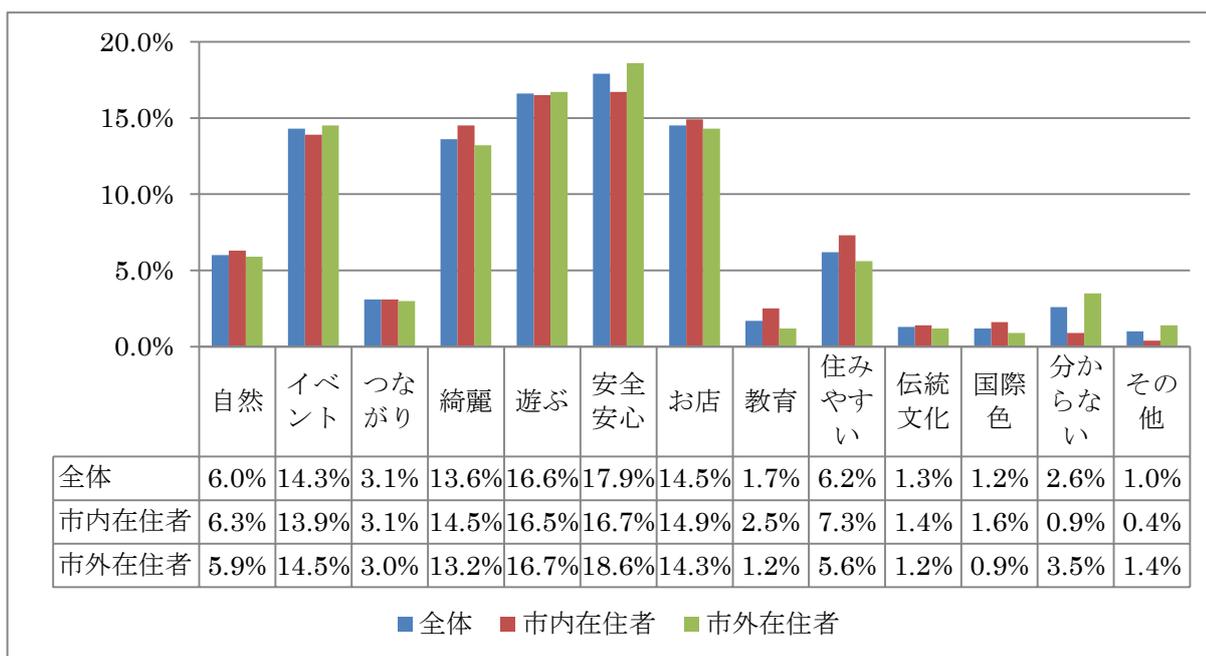
なっしてほしいイメージ	略語
自然が豊かなまち	自然
イベントやお祭りが盛んなまち	イベント
人と人のつながりが強いまち	つながり
綺麗なまち	綺麗
遊ぶところが多いまち	遊ぶ
安全・安心なまち	安全安心
お店が多いまち	お店
教育に力を入れるまち	教育
静かで住みやすいまち	住みやすい
伝統や文化を大切にするまち	伝統文化
国際色豊かなまち	国際色
分からない	分からない
その他	その他

(5) 10年後の直方市にどのようなまちになってほしいか

10年後の直方市にどのようなまちになってほしいかについて、最大2項目までの複数選択式で質問したところ、下図のとおり、市内外を問わず、同様の傾向がみられた。

全体割合が15%を超えた項目は、「安全・安心なまち(17.9%)」、「遊ぶところが多いまち(16.6%)」の2項目だった。まちのにぎわいを求める若者らしい意見が多い一方、防災・防犯・交通安全など安全・安心に対する意識の高さを持っていることが見受けられた。

図9. 10年後の直方市にどのようなまちになってほしいか (複数回答可) (n=2, 153)



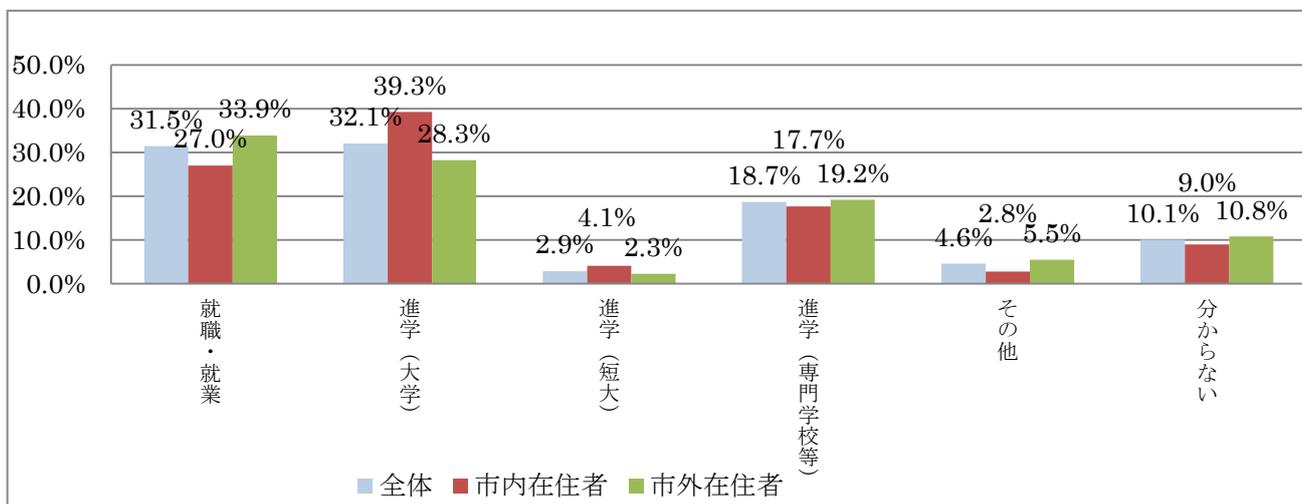
IV. 高校卒業後の進路・就職などについて

(1) 高校卒業後の希望進路について

Q 6. 現時点での、高校卒業後の希望進路を教えてください

高校卒業後の進路については、大学進学、就職・就業が中心であるが、市内居住者は、市外居住者と比較して大学進学を希望する割合が11%高く、一方、市外居住者は就職・就業を希望する割合が、市内居住者と比較して6.9%高かった。

図10. 現時点での高校卒業後の希望進路 (n=1,095)

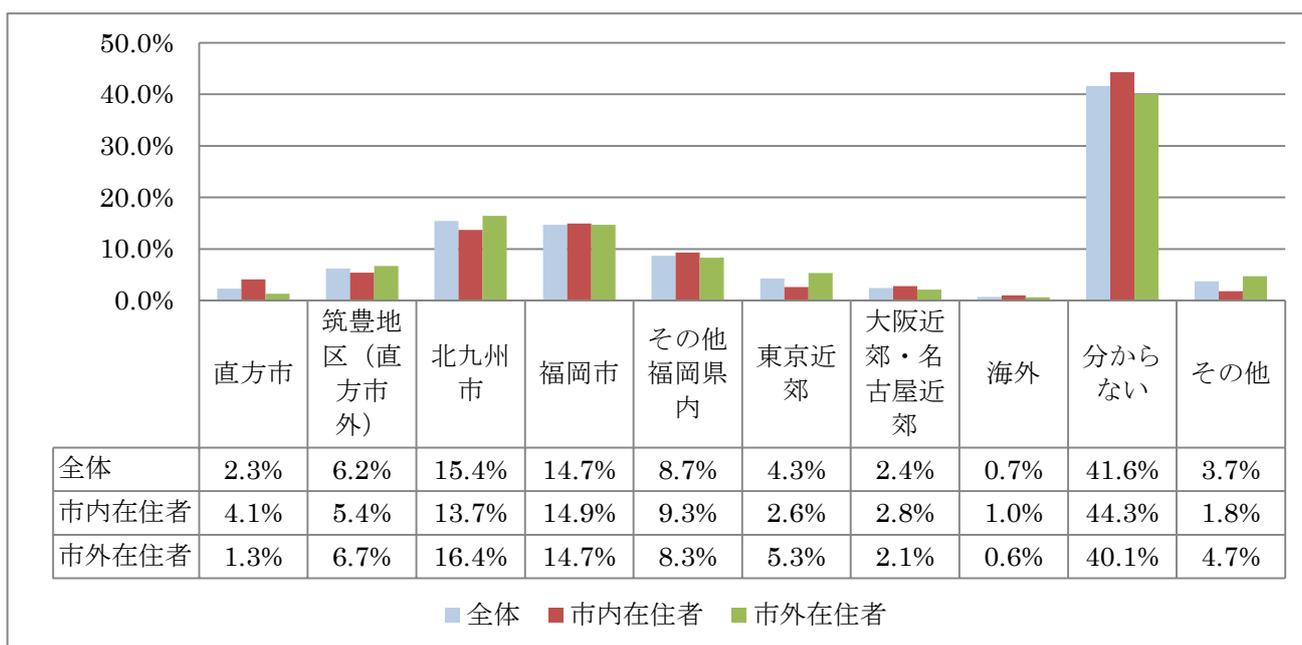


(2) 高校卒業後の希望進路の「場所」について

Q 7. 高校卒業後の希望進路の場所はどこですか。

高校卒業後の進路希望の「場所」について質問したところ、回答者の80%以上が高校2年生であるため、「分からない」の回答が40%以上を占めた。「分からない」以外の回答では、「北九州市(15.4%)」、「福岡市(14.7%)」の両政令市が高かった。一方、一般的に「若者の東京圏への流出」が問題とされているが、本アンケートでは、「東京圏」や「大阪・名古屋近郊」への希望進路者は5%未満少なかった。なお、本市を希望進路先とする回答者も5%未満のうえ、「筑豊地区(直方市以外)」、「その他福岡県内」を下回っており、県内他自治体への若者流出対策を講じる必要がある。

図11. 高校卒業後の希望進路の場所 (n=1,093)

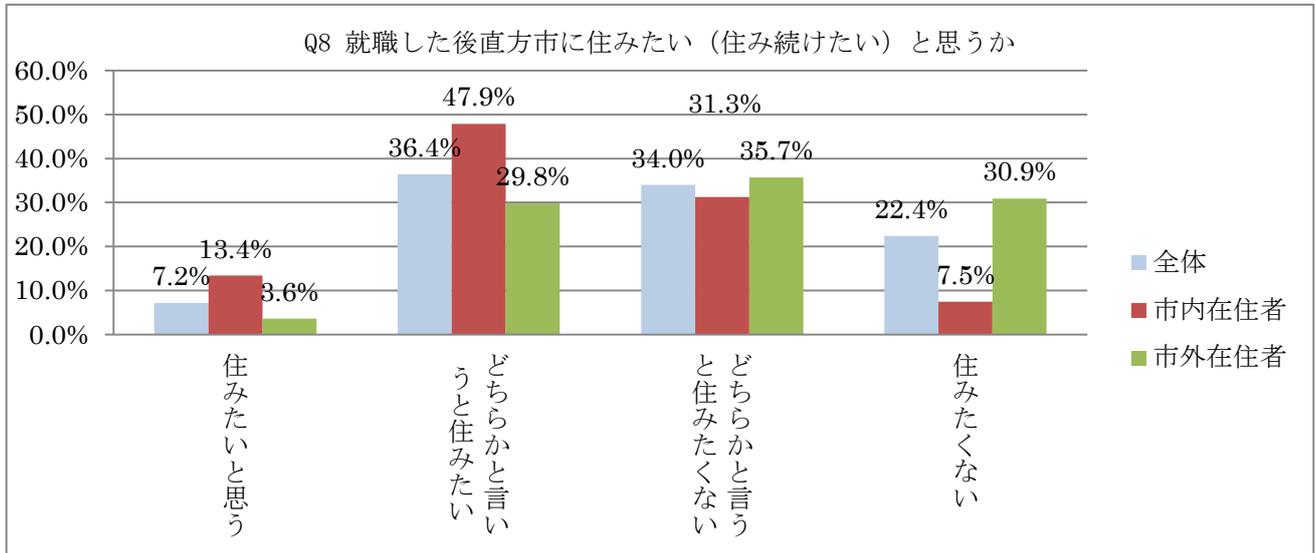


(3) 就職後の直方市への居留意向について

Q 8. あなたは、就職した後(上記 Q6. で 2～4 を選んだ方は、進学先の学校を卒業後に就職した後)、直方市に住みたい(住み続けたい)と思いますか。

就職後の直方市への居留意向について、「住みたい」、「どちらかと言うと住みたい」の合計は、全体では 43.6%である一方、市内居住者に限定すると 61.3%あり、一定の居留意向があることが分かった。

図 12. 就職した後、直方市に住みたいと思うか (n=1,023)



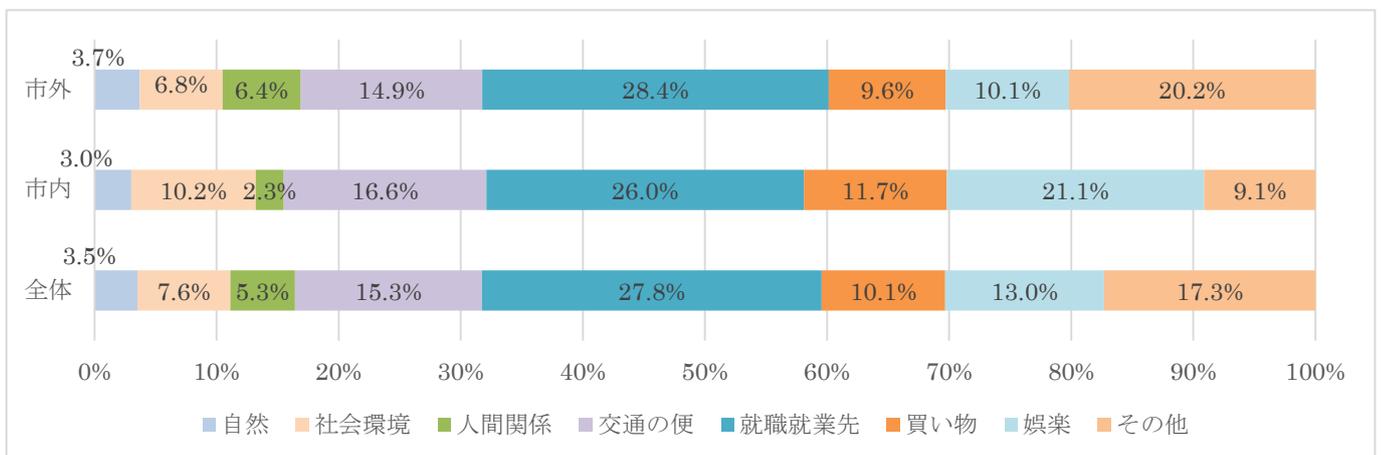
(4) 直方市に住みたくないと思う理由

Q 9. 上記Q8. で、3または4と回答した方のみお答えください。住みたくない(住み続けたくない)と思う理由を次の中から2つ以内でお選びください。

Q 8 の設問で、直方市に「住みたくない」、「どちらかと言うと住みたくない」のいずれかの回答者に対し、住みたくない理由を最大2項目までの複数回答可として質問した。

市内外を問わず、ほとんどの項目が同様の傾向であり、住みたくないと思う理由としては「規模鬱する就職・就業先が近くにないから」、「交通の便が良くないと思うから」等の項目が上位となった。ただし、唯一、「娯楽・レジャー施設が少ないと思うから」のみ、「住みたくない」と思う割合が、全体では 13.0%のところ、市内在住者は 21.1%と大きく上回っていた。

図 13. 直方市に住みたくないと思う理由(複数回答可) (n=1,050)



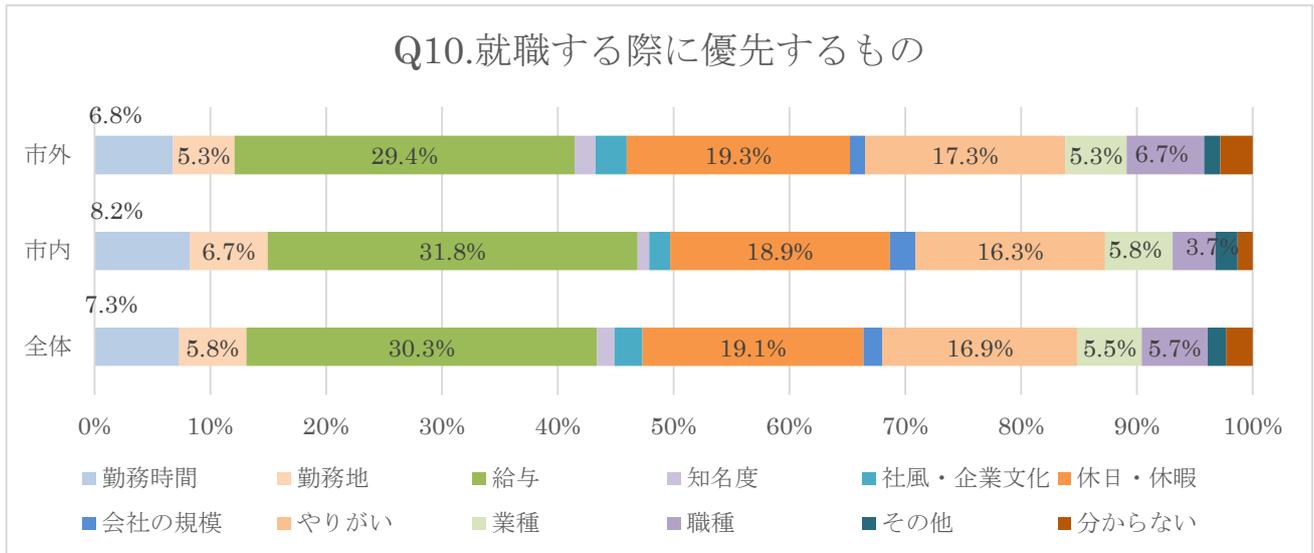
(5) 就職する際に優先するもの

Q10. あなたが就職する際(上記Q6.で2~4を選んだ方は、進学先の学校等の卒業後に就職する際)に優先するものは何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。

市内外を問わず、概ね同様の傾向が見られた。

優先するものの上位は、「給与(全体30.3%)」、「休日・休暇(全体19.1%)」、「やりがい(16.9%)」となった。本市では、今後、「若者の市内での就職」及び「市民所得の向上」への取り組みが必要であるとしているが、本設問の結果から、「若者の市内での就職」を増やすためには「市民所得の向上(=給与の上昇)」への取り組みが必要であると言える。

図 14. 就職する際に優先するもの(複数回答)(n=1,871)



(6) 将来就きたい業種

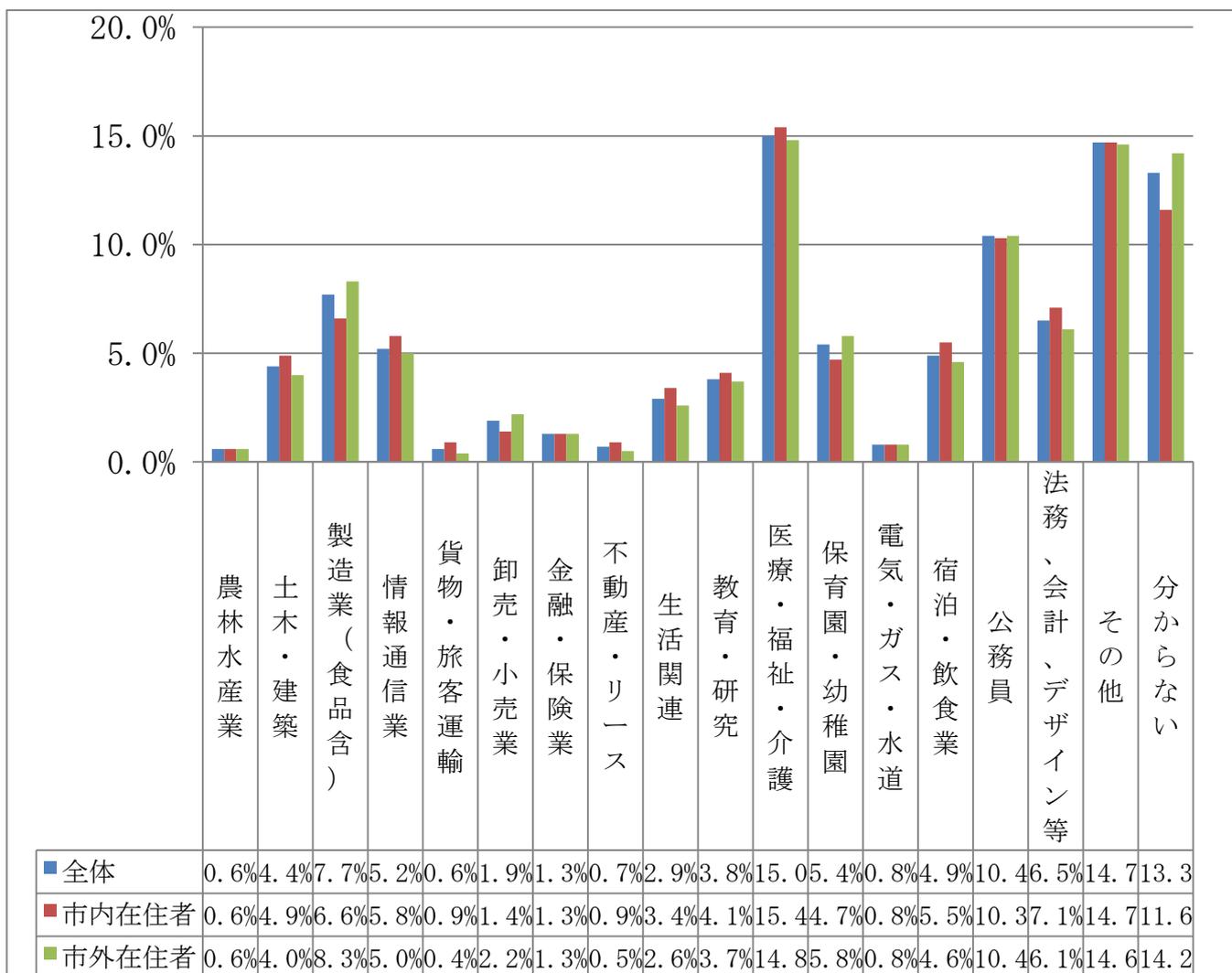
Q11. あなたが将来就きたい業種は何ですか。次の中から2つ以内でお選びください。

回答者の大半が高校2年生ではあるが、「介護・福祉」や「看護」、「調理」など将来就職する業種に繋がる学科等が一定数あることから、「分からない」の回答は全体で13.3%と高くなく、多くの高校生が将来就きたい業種について考えているものと思われる。

なお、「医療・福祉・介護（全体15.0%）」が最も多かったが、「その他（全体14.7%）」が2位であり、具体的にどのような業種を希望しているか、可能な範囲で調査する必要。

また、本市の主要産業である「製造業」への就業希望は全体で7.7%にとどまる一方、本市への集積が少ない「情報通信業」への就業希望が全体で5.2%と高いことから、市内への「情報通信業」の集積に取り組むことで、若者の市内での就労に繋がる可能性があると言える。

図 15. 将来就きたい業種（複数回答）（n=1,829）



(7) 就職するときに働きたい場所

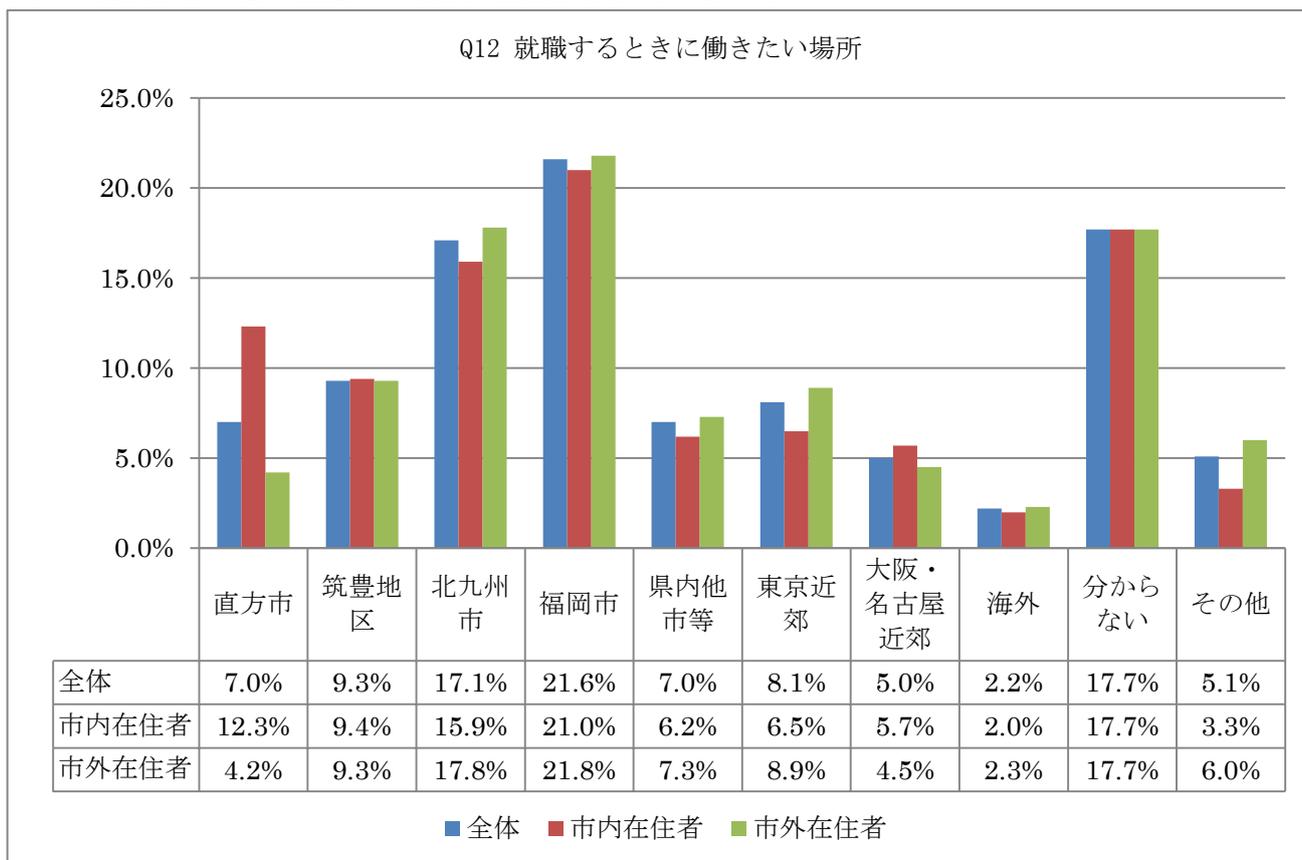
Q12. あなたが就職するときに働きたい場所を次の中から2つ以内でお選びください。

将来就職するときに働きたい場所について、最大2項目までの複数回答可として質問した。

「分からない(全体 17.7%)」を除くと、「Q6 高校卒業後の希望進路」と同様、「福岡市(全体 21.6%)」、「北九州市 (全体 17.1%)」の両政令市の割合が高い一方、「東京近郊 (8.1%)」は高い数値とはならなかった。

市内居住者の市内での就職希望を見ると、「Q6 高校卒業後の希望進路」では市内希望者が 4.1%と少ない一方、本質問では「12.3%」と大きく上昇しており、進学等で一度市外に出た後、市内に戻り就職する意向が一定数あることが分かった。

図 16. 就職するときに働きたい場所 (複数回答) (n=1,906)

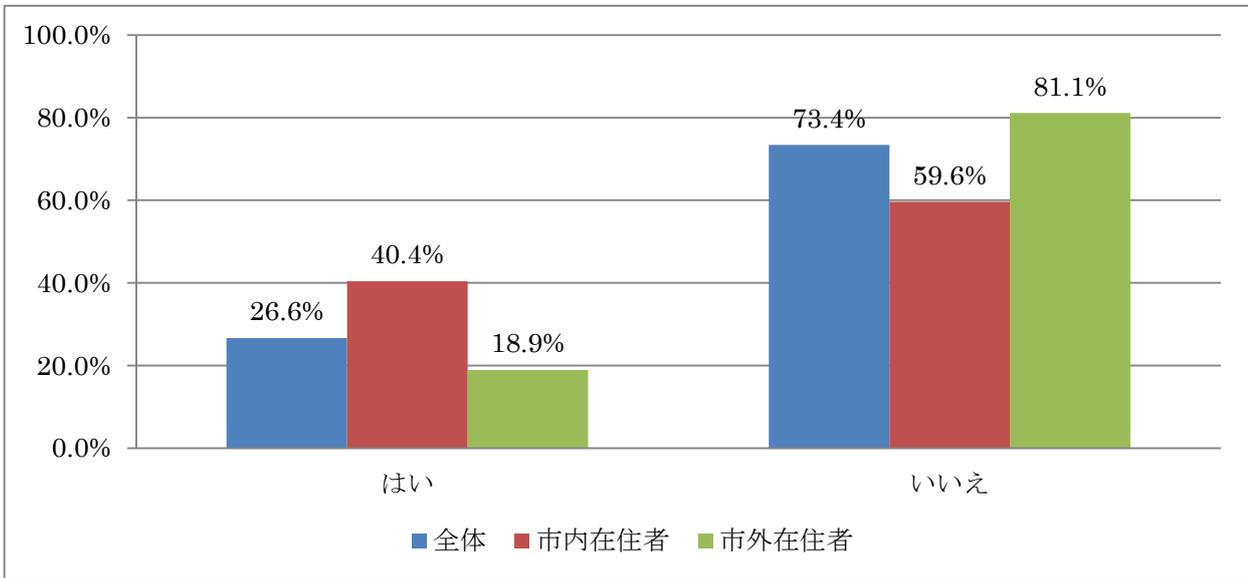


(8) 働きたい場所の候補地に直方市が含まれるか

Q13. あなたが働きたい場所の候補の中に、直方市は含まれていますか。

市内居住者の40.4%が、就職に際して本市での就職を検討する余地があることが分かった。若者が希望する業種等を市内に誘致することで、市内での若者の就業が増加する可能性がある。

図 17. 働きたい場所の候補地に直方市が含まれるか (n=1,023)



(9) 自由記述

Q14. 若者が直方市に住みたい(住み続けたい)と思うには、どのような環境や条件・取組が必要だと思いますか。アイデアがありましたら、自由にご記入ください。

順位	ワード	回数	順位	ワード	回数
1	店	117	13	買い物	17
2	遊	88	13	電車	17
3	交通	83	13	治安	17
4	人	61	16	学校	17
5	バス	51	17	安全	16
6	イベント	48	17	コンビニ	16
7	若者	45	19	公園	15
8	娯楽	42	20	安心	14
9	きれい	39	21	ゴミ	12
10	イオン	26	21	水	12
11	自然	23	23	祭り	13
12	ショッピング	20			

自由記述については、それぞれの記述からキーワードを抜粋し、キーワードの出現回数をカウントした。出現回数は、前頁の表のとおり。出現回数が多いキーワードに係る記述を見ると、

「店」については福岡・天神や東京のように店を多くしてほしい、コンビニやスーパー、ショッピングセンターを増やしてほしいという意見があった。

「遊び」については、若者が遊べる場所がないので作ってほしいなど、人、とくに若者を引き付ける魅力があれば人口や関係人口が増えるといった趣旨の記述が多かった。

「交通」の記述については、高齢者のためにもバスや電車の本数や路線を増やしてほしいなどの記述のほか、筑豊電鉄を延伸してほしいなどの意見もあった。逆に「交通の便は良い」といった意見もいくつかあり、駅周辺の交通については便利がよいと考えている人も多いようである。

「ゴミがないまちにしてほしい」や「自然を大切にしてほしい」など小中学生アンケートの際に多く見られた、「自然」についての自由記述は高校生アンケートの自由記述ではキーワードとして多く出てこなかった。この他、「治安が悪い」や「安全なまちにほしい」「安心して暮らせるまちに住みたい」など、防犯に関する意見も複数寄せられていた。

(3) 集計結果から見る傾向について

(まちの姿について)

住みたいと思うまちについては、「買い物がしやすい」や「交通の便がいい」「居住環境がいい」など生活利便性を重要と考えている割合が高い。直方市に対するイメージは、「自然の豊かさ」のみ、住みたいまちとしての重要度を上回っている一方、その他の項目はいずれも大きく下回っていた。

交通については、市内住民における重要度と直方市のイメージとの差が50%近く開いている。調査対象が高校生であることから、自家用車運転のための道路網ではなく、公共交通機関に対する意識が現れたものと思われる。人口減少局面において、公共交通をどの程度まで拡充するかは検討する必要があるが、加齢による自動車運転免許証の返納など、公共交通の利用ニーズはあり続けることから、自動運転技術の進展など将来の動向も見据えつつ、利用者（候補者を含む）のニーズに沿った公共交通施策に取り組む必要がある。

10年後の将来像については、前述した生活利便性に加え、「安全・安心」への取り組みを希望する割合が高く、近年の自然災害の多発や交通安全、防犯等への意識が高まっているものと思われる。

市内在住者の意見を総括すると、直方市に対するイメージは市外在住者より良く、直方市内に就職したい、あるいは直方市内で居住したいといった意見も市外在住者に比べて多いことから、直方市への愛着がある人が多い傾向がみられる。

(若者の就業について)

「働く場が多い」は、重要度と直方市のイメージとの差が約50%と大きく開いており、また、「就職後に直方市に住みたくない理由」の1位が「希望する就職・就業先が近くにない」であることと合わせて考えると、若者の市外への流出抑制や進学後の市内への流入のためには、若者が就業を希望する分野の企業等の誘致が重要であると思われる。

また、就職する際に優先する項目の1位が「給与」面であること及び今後、市民所得の向上に向けた取組が必要であることから、市内での若者の就業増加のためには、市内企業の生産性向上や所得水準の高い業種の誘致等に取り組む必要がある。

以下特徴的な意見を抜粋。

高校ごとの自由記述内容の抜粋

鞍手高校

花火大会以外の大きな行事をつくる。環境に優しくなるような取組みをする。
商店街を再び活性化させる。
もっと町をきれいにしてほしい。お金の使い道を新しいものに使ってほしい。学校がきたないからきれいにしてほしい。
シャッター街の少ない場所。あと商店街がどうしても暗いと思うから人の行きかう場所になれば良いと思う
子育てをするママさんたちが「少し休憩しようかな」「ゆっくりしたいな」と思える場所がない。商店街をそんな場所にするべきだと思う。災害に対しての対策がゆるいので、みんなにわかりやすいようにしたほうがよい。あと、アナウンスの仕方や改良をしたがよい。
未来のある町づくりをしてほしい。今のままでは人がどんどんいなくなってしまう。私の家はお寺なので直方市にいないてはならないから。
もっと有意義にお金を使った方が良くと思います。小・中学校の校舎改装費とか、企業誘致などです。何より気になるのが、毎年毎年、河川敷にトラックなどの整備車がいるイメージです。意図も良く分かりませんし、長い。正直なところもっと上手くお金を回してほしいです。
店を増やす、自分に将来子どもができた時でも住みたいと思われるように、子育て環境を充実させる。
様々な施設があるという条件は若者にとってすごく理想的です。市民プールや、大きなショッピングモール、専門店、スポーツできる場所(スポッチャ、など)などが直方市にはなく、遊ぼうと思ったら市を出ないといけないので残念だし、高校生にとって交通費がけっこうかかるので大変だと思います。
折尾のように商店街を学生通りにして店を入れる
安心して住めるよう。遠賀川彦山川の川底の土を取り除いて、大雨がふってもはらんしそうにならないようにすることか大事だと思います。
公通の便をよくしてほしい。娯楽・レジャーが充実してほしい。自然豊かできれいな場所がいい。もっと運動できる場所がほしい。

鞍手竜徳高校

日の出橋一本じゃ足りないから、ゆっくりでいいから近くに橋をもう一つ作ってほしい
ネットニュースにのるくらい有名になって福岡の中心になるように取り組めばよいと思います。
交通は整っているけど移動しないと何もないというのが直方市だと思う市内に若者が集まるような場所を作ればよいと思いました。あと赤バス少ない
自分は今のままでも充分良いと思いますただ言うとするならば遠賀川の土手の所にゴミがたくさん落ちているので、できればキレイにして欲しいです
水がおいしくないのでもきれいにしてほしいと前は今よりおいしかった
直方市が安全でみんなが安心できるように1人1人が考えて行動すれば良いと思います。
交通機関の時間帯を1時間3本とかに増やしてほしい。
色々な職種があるような市にしてほしい。交通機関をよりよくしてほしいと思います。
街灯が少ない

大和青藍高校

交通の便をふやす。コンビニをふやす・直方駅に行くメインロードは灯りがあるが他にはあまりないのでふやして下さい。歩道がせまい。
若者の給料でも借りたりできるくらいの家を増やす。(どうしても土地が高いから住みたくても無理。)
バスの本数を増やして欲しい。バスの金額を減らして(安くして)欲しい。天神と博多間だったら100円みたいな。
買い物ができる場所が駅から遠い。(近くにコンビニなどしかない。商店街の営業を増やしてほしい。道路の整備をしてほしい。(でこぼこして危ないところが多いから))
交通の便をもう少し増やしてほしい。バスの時間を夜20:00~21:00まで増やしてほしい。
若者をまねくようそが感じない。もう来るとしても、お年よりの方なので、そちらに向けた事業をやるべきだと思う。頑張ってください。応援しています。
田舎でもなく都会でもなく落ち着いた町なので町全体としてはとても良いです。もう少しコンビニを増やしたりつぶれたお店を別のお店にする。若者が着る服やくつなどのお店を作ってほしいです。
公共の場所にあるトイレなどがきれいであること
お祭りイベントが沢山あり、子育てしやすい環境が整っている。少し大きな公園などがあると良い。また、グラウンドやプールがあると、子供を育てやすくなり、若い人々が住みやすくなると思う。ほかにも、外国の文化をふくんだ、レストランや、屋台やお菓子屋等を増やしてほしい。また、自動車学校に原付小型自動二輪、普通自動二輪、大型自動二輪の免許取れるようにしてほしい。
大和青藍高校は卒業と同時に調理師の資格が取得できますだから僕は来和にきました。このように、ちゃんと将来の事を考えている人は遠くからでも来ます。ということで、一風変わった高校が増えると良いと思います。
学校の近くにコンビニ、カラオケ等を作ってほしい。遊ぶ所がない、ひま自分が住んでいる所より教育・交通便など少ないので増やした方がいい。ショッピングが少ない。バスの数も少ない。市でおこなう夏のぎょうじをふやした方がいい1時間に1本しかこない所など皆不便だと思う。もっと増やすべき(平筑)
平日のイオンから直方駅に向かうバスの本数が夜1時に1本だから、本数をふやしてほしい。大きなショッピングモールやテーマパークがほしい。街全体をきれいにしてほしい。

筑豊高校

ちいきの人でも参加のできるイベントの開催や、最近体を動かす人も少ないので市内で駅伝大会などをして直方市を盛り上げたら、もっと住みたいという人がでてくるかと思っています。
直方駅における鉄道、バスの接続改善、自転車道を活かしたサイクリングイベントの誘致、直方の交通の改善(例えば、バスの通ってない地区にバスを通す。)商業しせつの充実、商店街を活かしたイベント。
まず、環境を整え、娯楽・公園などを作り、子供のために学校を整備し、ショッピングなどが手軽にできるような場所を作り、また、交通の便などを増やす。そして、しっかりとゴミなどの物を整

理して、きれいにしていくととても良いと思います。
娯楽施設の充実化と職場の提供。少し娯楽施設が少ないと感じたのと、今はコロナのせいで就職活動に支障がでているので若い人に直方市での働き場を提供すればそのまま住んでくれたり、住み続けたりしてくれると思ったから。また、イベントの活生化によって経済を循環させるのもいいと思う。
筑豊高校の近くのバス停は急行のバスが1時間に1本とか、2時間待ちとかありますが、せめて30分に1本、できれば15分に1本とかがいいです。もっと交通の便を増やして欲しいです。お祭りやイベントなどを増やしたり、直方に来やすいように、交通の便を増やしたり、作ったりするべきだと思います。直方は、あまり治安が良くないというわさを聞くので、そういうところも改善するべきだと思います。
交通の便を良くすることと、もっと直方市の魅力、例えば植木の大名行列という歴史ある文化をPRするとか、若者が楽しいと思えるような、アスレチックな場所を作るという行動を実行できるようにすれば、良いと思います。
自分達の学校は、校門前にバス停があるのに直方高校の前にはない。直方駅からはほぼ同じ距離なのに、と思いました。
臭いのをどうにかしてほしい。・どこに行くにも直方駅にいったん行かないといけないのはめんどろ。

直方高校

町おこしをした方が良いと思います。花火大会では近くの人達しか来ないケースが多いと思います。だからもっと直方市といえば…というのを作ったら良いと思います。
水道をもっと強くした方がいいと思います。若者が遊べる所を増やした方がいいと思います。給与形態を良くする。アウトレットが欲しい。遊園地とかを作れば良いと思う。
駅前の商店街がシャッターがおりている所が多いし、駅は多くの人利用するものなのでもっと活性化させた方が良いと思います。
直方市は自然が多いので自然の中でくつろげるような物を設置したらいいと思います。自然の中だと、リラックスできたりするのでいいと思いました。
遊びに行く場所(大型施設)がたくさんあったらもっと人が来るし、食品を売っている場所が多かったりすると主婦の方にとって便利だから住みたいと思うだろうし、最近では若い年での出産などが多いので自然の多い広い公園があるような所を若いママさん方は希望としてし家を建てたいと考えるんじゃないかと思います。そういった子育てにすぐれた場所ほど子持ちの家族が増えて必然的に若い人が直方市にいるような環境になると思います。
私は直方市が好きだし、住みやすいまちだと思います。直方市がもっと、綺麗なまちになるといいなと思います。歩いているとき、ゴミをよくみかけるからです。
治安をもう少しよくしてほしい。・地図を分かりやすくしてほしい。
大学や専門学校などをつくってほしい。卒業後の進路や就職に不安を抱く1、2年生向けに相談できる所をつくったり、大学入試に特化した方に話を聞いていただける場をつくってほしい。
直方市は他の市に比べて治安が悪いとよく聞きます。そういったイメージが無ければ、誰でも直方に引っ越しやすくなると思います。直方市が悪いとは思いません。あと、せっかく昔ながらの商店街があるのに、暗くてシャッターが閉まっているのか疑問に思います。以上です!

デパートばかりでなく、商店街もお店を出せばいいと思います。私は、昔みたいに商店街に人がたくさんいたところを見たいなと通った時にいつも思っています。直方市は静かな方だと思うので、静かに暮らしたい人に直方市をおすすめしたらいいと思います。